

## 令和4年度 第3回佐賀県立牛津高等学校魅力強化委員会

日時：令和5年2月13日（月）17：00～

場所：佐賀県立牛津高等学校 会議室

### 会次第

#### 1 開会

#### 2 学校長挨拶

#### 3 協議・説明

- (1) 学校魅力化コーディネーターについて
- (2) 令和4年度学校評価の結果（案）及び学校関係者評価について
- (3) 令和5年度学校評価計画の素案について
- (4) 令和4年度 SAGA コラボレーションスクール事業の評価について
- (5) 令和5年度 SAGA コラボレーションスクール事業の計画について
- (6) 令和5年度の事業及び魅力強化委員会について
- (7) その他

#### 4 閉会

# 目次

|        |       |
|--------|-------|
| ○参加者一覧 | 2 ページ |
|--------|-------|

|     |       |
|-----|-------|
| ○協議 | 3 ページ |
|-----|-------|

|                    |       |
|--------------------|-------|
| ・学校魅力化コーディネーターについて | 4 ページ |
|--------------------|-------|

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| ・令和4年度学校評価の結果（案）及び学校関係者評価について | 5 ページ |
|-------------------------------|-------|

|                     |       |
|---------------------|-------|
| ・令和5年度学校評価計画の素案について | 6 ページ |
|---------------------|-------|

|                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| ・令和4年度 SAGA コラボレーションスクール事業の評価について | 7 ページ |
|-----------------------------------|-------|

|                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| ・令和5年度 SAGA コラボレーションスクール事業の計画について | 10 ページ |
|-----------------------------------|--------|

|                        |        |
|------------------------|--------|
| ・令和5年度の事業及び魅力強化委員会について | 11 ページ |
|------------------------|--------|

## <別紙>

|                 |  |
|-----------------|--|
| ・令和4年度学校評価結果（案） |  |
|-----------------|--|

## ◆参考資料（別冊）

|                |       |
|----------------|-------|
| ・学校評価結果についての説明 | 1 ページ |
|----------------|-------|

|            |       |
|------------|-------|
| ・学校評価アンケート | 2 ページ |
|------------|-------|

|                     |        |
|---------------------|--------|
| ・高校魅力化評価システムアンケート結果 | 11 ページ |
|---------------------|--------|

|                                      |        |
|--------------------------------------|--------|
| ・SAGA 唯一無二の学校魅力化実践事業のロジックモデル（県教育振興課） | 19 ページ |
|--------------------------------------|--------|

|                               |        |
|-------------------------------|--------|
| ・佐賀県立牛津高等学校運営協議会（学校魅力強化委員会）規約 | 20 ページ |
|-------------------------------|--------|

佐賀県立牛津高等学校魅力強化委員会委員名簿

|    |     | 氏名     | 所属等                               | 地域連携 | 魅力発信*1 | 学校評価*2 | 当日出欠    |
|----|-----|--------|-----------------------------------|------|--------|--------|---------|
| 1  | 会長  | 長戸 和光  | 佐賀駅前法律事務所／牛津ロータリークラブ              |      | ◎      |        | 出席      |
| 2  | 委員  | 古川 久美子 | 株式会社 城島旗染工                        | ◎    |        |        | 出席      |
| 3  | 副会長 | 高元 宗一郎 | 西九州大学短期大学部                        |      |        | ◎      | 出席      |
| 4  | 委員  | 横尾 敏史  | 株式会社佐賀銀行／<br>オプティム・バンクテクノロジーズ株式会社 |      |        | ○      | 出席      |
| 5  | 委員  | 山田 美穂  | 本校PTA会長                           |      | ○      |        | 出席      |
| 6  | 委員  | 中尾 政幸  | 小城市副市長                            | ○    |        |        | 出席      |
| 7  | 委員  | 金森 星奈  | 児童養護施設 聖華園                        |      |        | ○      | 出席      |
| 8  | 委員  | 東島 杏香  | 鳥栖工業高等学校                          |      | ○      |        | Zoom 出席 |
| 9  | 委員  | 滝 崇磨   | 西九州大学（学生）                         | ○    |        |        | 出席      |
| 10 | 委員  | 江頭 かおり | 本校校長                              | ○    | ○      | ○      | 出席      |

\* 1 魅力発信部会は制服検討委員を兼務する

\* 2 学校評価部会は教科書選定を兼務する

## 学校魅力化コーディネーターについて

### ● 高岸 修造 （たかぎし しゅうぞう）

- ・ 42歳
- ・ 出身は佐賀県
- ・ 賃貸管理の会社などを経験後、2012年に起業
- ・ 地域と行政とのマッチングや地域振興事業

# 令和4年度学校評価の結果（案）及び学校関係者評価（案）について

- 学校評価結果（案）は別紙参照
- 学校関係者評価（案）

## 1 評価

### （1）学校運営について

#### ①目標の妥当性及び達成状況

取組目標については具体的な数値目標であり、かつ実現可能な目標となっており妥当であると考え。達成状況については、設定してある数値目標を十分に達成していると考え。地域の中で、学校全体の価値が上がるように、校長先生をはじめ先生方が一丸となって、普段努力されていることが理解できた。

#### ②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

取組内容は適切だと考える。自己評価についても、妥当であると考え。ただ、いくつかの項目の実施結果において、具体的な数値が表示されていないため具体性に欠ける項目があることが残念であった。

#### ③改善方策の適切さ

それぞれの項目において、学校全体として生徒の視点で改善に取り組んでおられることが感じられた。

### （2）教育活動について

#### ①目標の妥当性及び達成状況

取組目標については具体的な数値目標であり、かつ実現可能な目標となっており妥当であると考え。達成状況については、設定してある数値目標を十分に達成していると考え。どの項目においても、生徒の視点を考えた目標が設定されており、その目標を達成するために、先生方をはじめ生徒の皆さんと一緒に努力されていることが理解できた。

#### ②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

取組内容は適切だと考える。自己評価についても、適切な評価を具体的な数値で評価されているため、妥当であると考え。

#### ③改善方策の適切さ

それぞれの項目において、学校全体として生徒の視点で改善に取り組んでおられることが感じられた。

## 2 その他学校に対する意見や提言

○このような評価活動は県内の他の高校でも実施されていると考えておりますが、他の高校との情報の共有は行われているのでしょうか。他校さんの取り組みで参考になる内容があれば、牛津高校でも取り組むことも可能ではないかと考えております。

また、そのような事例（他校の良い取り組みを取り入れた事例）があれば、ご紹介いただければと思います。

○次年度の取り組みとして、新たな依頼も来ているとのことなので、今後のご活躍を期待しております。ただ、取り組みが増えると生徒さんや先生方の負担が増加すること考えられますので、無理のない範囲でご活躍頂ければと考えます。

○今後、魅力化コーディネーターとの連携が行われると考えられますので、今後の取り組みにも期待しております。

## 令和 5 年度学校評価計画の素案について

- 評価項目については、県からの指定となっており変更はできない。令和 5 年度も同様と考えられる。
- 取組内容及び成果指標内の『●』印のものについては、県からの指定となっており、変更ができない。令和 5 年度に内容に変更があることも考えられるが、こちらで決めることはできない。
- 学校関係者評価（案）にあったように、具体的な数値の結果を示すことができる、できやすい取組目標等を設定する必要がある。

※ 取組内容、成果指標及び具体的取組について、今回の結果や関係者評価を受け、改善した方がよい項目があれば、ぜひご意見をお願いします。

## 令和4年度 SAGA コラボレーションスクール事業の評価について

### 1 取組テーマ

地域に開かれた、愛される学校づくりプロジェクト

### 2 学校としての課題

本校は、家庭科の専門高校というユニークな存在として特色ある教育活動を展開しており、特に地域との協働活動については県内外から多大な評価をいただいている。しかしながら、この数年間の本校受検者は募集定員に満たない状況であり、学校の魅力づくりやその発信方法等について、改めて検証し、改善の手立てを早急に講じる必要がある。

また、全国各地で地域活性の取組が進む中、本校の役割として、住民と共に「地域の課題を発見し、解決していくプロセスを考え、実行していくこと」がこれまで以上に重要となっている。

### 3 本事業の目標

- 地域などとの協働活動である本校の『+U×U（プラス U カケル U）プロジェクト』を通して、生徒の主体性などの資質・能力をさらに伸ばすとともに、地域をデザインし地域に新たな活力をもたらす存在としての高校を目指す。
- 広報活動を通して、学校のみならず地域の魅力も合わせて発信し、中学生を中心とする若年層及び地域からの牛津高等学校に対する知名度及び好感度を伸ばす。

### 4 今年度の取組について

#### ● 地域連携について

##### ➤ これまでの活動を継続

- ・台風や新型コロナウイルス感染症関連で中止（延期）となった事業が数例。
- ・牛津高校独自のお店出店については、新型コロナウイルス感染症のため、見送った。

##### ➤ 新たな取組や再開された取組

- ・外部との協働後の商品開発や販売については、新規、再開での活動あり。  
…コーディネーターのつてを活用して検討中のものもあり
- ・市や町の商工会、こども園などから新たな依頼があっており、できる限り対応した。

##### ➤ 小城市との包括連携協定について

小城市と本校、小城高校、西九州大学との間で協定締結を計画中。主な連携内容は以下のとおり。

- ・ボランティア・ワークショップなどの募集・応募
- ・広報・イベントの周知及び協力
- ・講座・研修への講師などの派遣
- ・連携事業の相談・助言・協力



- 広報活動について

- 新たな情報発信メディアについて

- ・ 牛津高校 YouTube チャンネルを開設し、授業の様子を中心に現在 21 本の動画を配信中

- ・ 生徒会との話し合いの中で、YouTube 以外のメディアについても検討したところ、まずはホームページの充実を提案された。

- …今年度中に生徒会と意見を交換しながら改善の取組を開始する

- 中学校等へのこれまで以上の積極的な働きかけ

- ・ 中学校教員対象の学校見学会を開催した。

- ・ 県外中学校への説明については、佐世保市の 3 校をメインターゲットに中学校に訪問。

- …佐世保市立中の生徒が学校見学会に参加し、ファッションショーを観覧

- 本年度の関連表彰

- さがさいこう！企画甲子園最優秀企画賞

- …本校生徒が「起業家入門Ⅰ」でプランを立て、練り上げた企画に対して

- キャリア教育推進連携表彰（文部科学省・経済産業省）奨励賞受賞

- …継続して行われている地域との連携活動などに対して

- 佐賀県食育推進優良校

- …生徒が地域の放課後児童クラブ等で行っている食育活動などに対して

## 5 生徒の意識変容について

- 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティングが作成した「高校魅力化評価システム」のアンケートを活用。県では 7 月頃に本アンケート調査の依頼があったが、本校では加えて 1 月にも実施し、生徒の変容を見た。

- アンケートでは 90 問と非常に多い設問数であったため、7 つの因子にまとめた。

- 半年間では、「自己肯定感」や「現在の社会とのつながり」、「共同的な探求性」といった因子については伸びがみられた一方、「満足感」の因子は低下した。

- 本校の取組である、地域連携や「起業家入門」、「課題研究」などの取組は、生徒の意識変容に役立っていると考えられる。

- 「満足感」については、特に第 2 学年での低下が顕著となっている。2 年時には進路や専門技術の向上について思い悩むことも多いため、このことが原因となっているのではないかと考えているが、次年度以降の意識調査でさらに同一集団を追いかけて、原因を追究したい。

## 6 次年度に向けた課題と展望

### ● 取組内容の精選とブラッシュアップ

・多岐にわたる本校の活動内容をほぼ把握することができたが、新たな依頼も舞い込んでおり、生徒の成長や地域とのつながりを考えながら、活動の精選と改善を続ける必要がある。

・今年度の中学生の進学希望調査でも定員割れの状況となっており、広報活動については、より効果的な手法をさらに研究し、実施する必要がある。

### ● 無理なく学校全体で取り組むための体制の強化

#### ➤ 学校魅力化コーディネーターのさらなる活用

・コーディネーターの高い能力をさらに活かして、商品開発や地域連携に取り組む。

#### ➤ 生徒主体の活動の強化

・生徒会や家庭クラブを中心とした主体的な活動をさらにサポートする。

・広報については、生徒主体となる組織（生徒会内などに）を作ることも検討。

#### ➤ 校内体制の整備

・働き方改革を意識した、継続可能な組織づくりが課題。

#### ➤ 事業目標の共有化と未来のビジョン作成

・本事業については、本校及び県の事業目標の達成イメージを共有化し、県との連絡もこれまで以上に密に取りながら、活動につなげていく必要がある。

・職員間での意見交換を活発にし、将来のビジョンを職員間で構築し、共有していく。

## 令和5年度 SAGA コラボレーションスクール事業の計画について

### 1 県に提出した取組テーマや事業目標

- ・3年間を通じた取組と考えているため、変更は考えていない。

### 2 取組内容の精選とブラッシュアップ

- 「課題研究」や「起業家入門Ⅱ」におけるテーマ学習において、地域や他の団体等とのコラボレーションを次年度も行う予定。特に「起業家入門Ⅱ」では、コロナウィルス感染症の影響も減ってきていると考えられるため、本校の魅力化コーディネーターも活用して、販売や商品化にたどり着くような活動を再開したい。
- 「起業家入門Ⅰ」では、鳳雛塾と連携を取りながら、本校の魅力化コーディネーターも活用しながら、さらに質の高い取組を継続したい。

### 3 広報活動について

- 本校の魅力をさらに伝えるために、魅力化コーディネーターや生徒会とも連携しながら、少しでも中学生やその保護者に訴えかけられるような働きかけや工夫を検討し続けたい。
  - メディアについては、生徒会からホームページの改善、特に頻繁な更新についての提案がなされた。どのような情報を掲載するのも大切だが、情報を素早く更新することも大切であるとの意見があったため、実行する。
  - 県外の中学校への学校訪問（特に佐世保地区）は今後も継続したい。また、学校訪問で、進路指導や3年学年主任が対応してくれた学校は本校の事を熱心に聞いてくれた。これは県内でも同様と考えられるため、県内中学校への学校訪問も積極的に行う。

### 4 無理なく学校全体で取り組むための体制の強化

- 生徒主体の活動の強化
  - 生徒会や家庭クラブとの緊密な連携
  - 生徒主体となる広報組織（生徒会内などに）を作ることも検討
- 校内体制の整備
  - クラス減による職員数減に対応できる体制の整備
    - ・どのような体制にすべきかについては、校内で議論が必要。
    - ・職員間での意見交換を活発にし、将来のビジョンを職員間で構築し、共有していく。

## 令和５年度の事業及び魅力強化委員会について

### ● 部会の在り方について

令和４年度は３つの部会を合計６回計画し、５回実施した（うち１回は紙面会議）。部会の委員は本校校長を含めて４名のため、議論を行うには人数が少ないとの意見もでた。

そこで令和５年度は以下のような開催方法を提案します。

- ・年間６回程度の魅力強化委員会を開催する。
- ・各委員会内で部会に関する議論を行う。
- ・各開催で、３部会のうち２部会に関する内容の議論を行うことを基本とする。

### ● 令和５年度魅力強化委員会の開催素案

第１回（５月）…魅力強化委員の委嘱と、年間事業計画、学校評価計画の承認（全部会）

第２回（７月）…１学期の総括、カリキュラム・教科書の承認（学校評価・地域連携）

第３回（８月）…２学期以降の事業（魅力発信・地域連携）

第４回（１０月）…事業の中間評価、学校評価の中間評価（学校評価・魅力発信）

第５回（１２月）…令和６年度の事業計画（全部会）

第６回（２月）…事業の評価、学校評価の最終評価、次年度の計画（全部会）